

テエタ

[teeta]

43



公益財団法人

北海道埋蔵文化財センターだより

- 2019年度発掘調査一覧 2
- 2019年度の発掘調査 2
- (公財)北海道埋蔵文化財センター設立40周年にあたって 3
- 北海道立埋蔵文化財センター令和元年連続講座・講演会のお知らせ 4
- 人事異動 4

「テエタ」はアイヌ語で“昔”を意味します。北の大地で繰り広げられた昔の人々の文化や環境を、現在と未来の人々に伝えるのが私たちの仕事です。昔のこと、古いことを広く知ってほしいという願いを込めて「テエタ」をこの冊子のタイトルにしました。



木古内町幸連5遺跡 ミニチュア土器出土の様子（縄文時代中期前半 約4,300年前）

【表紙解説】

画面右上はフラスコ状土坑の坑底部からみつかった、縄文時代中期前半（円筒上層b式相当）のミニチュア土器です。作りが丁寧なので写真では大きく見えますが、周りにある土器破片と比較すると小さい土器であることがみてとれます。高さ11.8センチ、口径9.2センチで、口縁部には補修の穴も空けられていました。円筒上層式にはミニチュア土器が多く見られます。しかしこの土器は中でも精巧な作りのものです。

○2019年度発掘調査一覧

(2019.9.17現在)

事業者		事業名	市町	遺跡名	面積 (㎡)	備考
国土交通省 北海道開発局	札幌開発建設部	長沼南幌道路工事	長沼町	16区F	1,360	
	函館開発建設部	高規格幹線道路函館江差自動車道	木古内町	幸連5	1,622	
その他	東日本高速道路株式会社 北海道支社	苫小牧中央 IC 雪氷管理施設設置工事	苫小牧市	高丘8	1,176	
合計					4,158	

○2019年度の発掘調査



調査の様子

きこない こうれん
木古内町幸連5遺跡

幸連川左岸の海岸段丘上に広がる、縄文時前期から後期初頭の遺跡です。調査は4か年目で、今年度で現地調査を終える予定です。これまでにわかった主な状況は、縄文時代前期後半から中期前葉のフラスコ状土坑群の上に中期中葉以降の住居跡が重複していること。遺跡中央ではこれらの遺構を南北方向に削り、その両縁に土砂を盛っていること。段丘の東側斜面には前期から中期の盛土遺構が形成されていることです。現時点で住居跡138軒、土坑465基が検出され、遺物は170万点に達しています。



包含層調査の様子

とまこまい たかおか
苫小牧市 高丘8遺跡

遺跡は苫小牧市中央部、JR苫小牧駅から北へ約3km、標高約50mの樽前山から続く段丘面上にあります。今年度の調査は雪氷管理施設建設工事に伴う1,176㎡で、苫小牧中央インターチェンジ線工事に伴う昨年度の調査区に隣接しています。

調査対象は、樽前山の火山灰 (Ta-d) を挟む上下2枚の黒色土層で、Ta-dより上の黒色土 (Ⅱ黒) 層調査では、昨年に引き続きシカなどの動物を捕るための落とし穴 (Tピット) と思われる遺構が見つかりました。遺物は縄文時代中期天神山式の土器片や、黒曜石製槍先、石鏃等が見つっています。

今後はTa-d層より下の黒色土 (Ⅲ黒) 層調査を行い、調査は7月末に終了しました。

○ (公財) 北海道埋蔵文化財センター設立40周年にあたって

(公財) 北海道埋蔵文化財センター 理事長 長 沼 孝

北海道埋蔵文化財センターは、昭和54年9月に財団法人として設立され、平成24年4月に公益財団法人となり、現在、設立40周年を迎えたところです。それを記念し、今年3月には実際の発掘調査に関わってきた調査員の遺跡や遺物に対する様々な思いをつづった『北の遺跡発掘物語』（「テエタ」特別号）を刊行しました。

北海道での開発行為に伴う大規模な発掘調査は、昭和47年の函館市西桔梗遺跡を皮切りに、昭和49～51年には同じく函館市で空港拡張工事に伴って行われ、本格的には北海道教育委員会によるものが、昭和50年から北海道縦貫自動車道路建設、昭和51年から新千歳空港建設に伴って開始されました。その後、昭和54年9月以降は、当センターが北海道開発局や日本道路公団などの大規模工事に伴う発掘調査を中心に実施してきました。40年間（平成30年3月末）で調査した遺跡は64市町村、363か所、北は礼文町、南西は松前町、東は根室市など、全道各地に及び、その調査面積はおよそ269ha、札幌ドーム50個分に相当します。大規模調査の代表的なものをあげると、新千歳空港建設に伴う美沢川流域遺跡群は北海道教育委員会時代を含め、12遺跡、面積約23.3haを21年間、高規格道路建設に伴う白滝遺跡群では21遺跡、面積12.3haを20年間行っています。また、高速道路建設に伴う調査をみると、現在供用されている縦貫自動車道の森町大沼公園ICから土別市土別剣淵IC区間延長約443kmでは、道南・道央・道北の14市町、67遺跡、その面積はおよそ56haに及びます。

その調査成果は369冊の発掘調査報告書として刊行され、北海道や地域の歴史研究に欠くことができない資料として、広く活用されています。また、その大部分の出土品は、それぞれの地元で収蔵・展示・公開されており、それらの中で、今金町美利河1遺跡、知内町湯の里4遺跡、千歳市ママチ遺跡、千歳市美々8遺跡、遠軽町白滝遺跡群は国の重要文化財に、芦別市滝里遺跡群、八雲町野田生1遺跡、平取町二風谷遺跡群は北海道の有形文化財として、その一部が指定されているものもあります。最近の話題では、重要文化財のママチ遺跡の「土面」や北海道指定有形文化財の野田生1遺跡の「赤彩注口土器」などは昨年東京国立博物館で開催された「縄文展」に出品され、さらに日本を代表する出土品としてパリで開催された「ジャポニズム展」でも展示されました。

一方、当センターは、平成11年に北海道が設置した「北海道立埋蔵文化財センター」について、平成11～17年は委託者、平成18年～31年は指定管理者として、その管理運営に携わり、埋蔵文化財に関する各種の展示・普及・活用事業を行ってきました。

当センターは、今後も調査と普及・活用を運営の両輪として、北海道における埋蔵文化財保護行政の一翼を担ってきたいと考えております。つきましては、その運営や事業展開に関して、多くの関係機関や関係者のみなさまの一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



Photo: T.Ogawa



Photo: T.Ogawa



千歳市ママチ遺跡
出土重要文化財
「土面」と
その出土状況



八雲町野田生1遺跡出土北海道指定有形文化財
「赤彩注口土器」とその出土状況

○北海道立埋蔵文化財センター令和元年連続講座・講演会のお知らせ

「アートな考古学を知る・学ぶ4」「縄文人に挑戦—土偶をつくる—」

日時：令和元年10月26日（土）13:30～15:30

定員：20名

講師：坂本尚史（第一調査部普及活用課主査）

内容：「土偶」は縄文人の精神世界を探る道しるべ。縄文人の心と技にどこまで迫れるか、越えられるか。縄文人が作った土偶を見本にマイ土偶作りに、レッツ・チャレンジ。

秋季講演会「アートな考古学を知る・学ぶ5」「日本原始絵画研究の動向」

日時：令和元年11月16日（土）13:30～15:30

定員：100名

講師：設楽博己（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

演題：「日本原始絵画研究の動向」

内容：日本原始絵画の研究は歴史が古く、考古学の重要な研究課題。銅鐸や弥生土器に描かれた二次元の絵画が中心だが、縄文土器や土偶の三次元的な造形も関連性がある。この分野の研究の第一人者が語る、原始絵画とその背景にある心の歴史。

○人事異動

○役員の退任（6月21日付け）

越田 賢一郎 理事長（非常勤）

中田 仁 副理事長（非常勤）

長沼 孝 常務理事兼第1調査部長

○役員の就任（6月21日付け）

長沼 孝 理事長（非常勤）

鈴木 信 常務理事兼第1調査部長

兼第2調査部長

○採用（4月1日付け）

田口 尚 第1調査部第1調査課主任（再雇用）

「アートな考古学を知る・学ぶ6」「火焰型土器の世界」

日時：令和2年1月25日（土）13:30～15:30

定員：100名

講師：石原正敏（新潟県十日町市博物館参事・副館長）

内容：縄文土器唯一の国宝「火焰型土器」は、ダイナミックな突起とうねるような文様が器面をおおい、縄文土器の頂点といわれる。担当者が語る、「火焰型土器」の魅力と調査・研究・指定・公開展示に関わる様々な話題。

「アートな考古学を知る・学ぶ7」「岡本太郎が見た縄文土器の四次元的世界」

日時：令和2年3月14日（土）13:30～15:30

定員：100名

講師：石井匠

（岡本太郎記念館客員研究員・多摩美術大学非常勤講師）

内容：岡本太郎は、日本美術の源流は縄文文化にある、と声高に叫び、縄文土器を四次元の芸術と表現した。大阪万博公園の太陽の塔は、まさに縄文土器のデフォルメ。そんな縄文文化と岡本太郎の深い関係を考古学的視点から語る。

○退職（3月31日付け）

田口 尚 第1調査部普及活用課長

作田千秋 総務部総務課参与

立野賢次 総務部業務課参与

○退職（6月21日付け）

長沼 孝 第1調査部長

○昇任（4月1日付け）

倉橋直孝 第1調査部普及活用課長

○昇任（10月1日付け）

村田 大 第2調査部長

兼第2調査部第3調査課長

○兼職の解除（9月30日付け）

鈴木 信 第2調査部長

◆交通案内◆

- ・JR大麻駅から、徒歩約20分
- ・新さっぽろバスターミナル発
 - ・JRバス（文京台線循環新83）・夕鉄バス（文教通西）に乗車
 - 「くりの木公園前」下車、徒歩5分
 - ・JRバス・夕鉄バス（江別方面行き）に乗車
 - 「北翔大・札学院大前」下車、徒歩15分

